

なるべし。

之を本會の現狀に照し考ふるに本會は正會員甲種免狀及び一等機關士以上免狀受有者のみ總數二千二百人にして全國甲種海技免狀及び二等機關士以上免狀受有者合計七千八百十四人に對し約三分の一を包含す其中船舶に乗組まざる者合計五百七十六人、之を區分するときは陸上勤務者二百二十五人（水先人を含む）豫備員（何時にても船舶に乗組み得る者）百二十九人にして其餘の二百二十二人は海技免狀を有するも實際船舶に乗組み執職し得ざるものにして實に總數の三割六分に當る之を以て大體の勢を察し得べく然らば未だ遽かに船員の供給力に安心するを得ざるなり。然れども現在の狀態に於ては多少其海技免狀受有者に餘剰を來し居るは争ふべからざる事實にして少くとも不足と稱すべからず此點は更に一層の調査を遂げて正確の數字を知らむことを期す。

## （二）下級船員

下級船員の需要は殆ど海上に限られ陸上技術員として雇用せらるゝこと稀なり。而して船舶乗組員としての要員數は五萬八千五十六人なりとす。之に對し現時船員手帖受有者二十二萬二千五百八十八人にして即ち需要一に對し供給力三、八三四なり。

如此下級船員の供給力が海技免狀受有者の夫に比して著しく多數なるは前段供給の部に於て述べたる如く下級船員は就業、轉業共に容易なるを以て必要に應じ船員手帖を受有するも又忽ち頻々として轉業、廢業し、而も其際船員手帖を返還せざる者多く從て統計上より見るときは其數甚だ多しと雖も其實此中には既に船員たるの實を失ひたる者頗る多數を占むるものにして果して幾何の數に達するやと調査困難なり。然れども下級船員は高級船員と異なり其の待遇の如何に依り之を必要に應じ短期間に養成すること困難ならず從て需給の關係に付ては重大なる部分を占めず。唯現在に於て不足を告ぐるの狀況に在らざることを一言して本項を終らむとす。

## 第二節 來

現在に於て海員需給の關係は比較的圓滑にして幾分供給に餘りある狀態なるは前段所の如し然らば將來は果して如何。目下新造船の數夥しきに鑑み船員に不足を告ぐるに至らむことを恐るゝものあり之れ吾人の更に研究を要する點なりとす。

先づ需要の方面より見るに將來其の需要の増加を來すべきものは主として船舶の増加なりとす而して帝國商船の増加は近時特に著しく本論第三章第四總括の項に於て論じたるが如く今や大正八年末迄に約六十二萬噸の船舶の増加を見むとす而して之が乗組みとして幾何の船員を要するやを見るに前記六十二萬噸を假りに平均五千噸の汽船百二十四隻とするときは高級船員七百四十四人下級船員九千四百二十四人を要すべし。借て一方大正八年末迄に幾何の新船員を養成し得るやを見るに今日の狀態にては毎年の海技免狀受有者（甲種免狀及二等機關士以上の免狀）の増加率は八百九十人にして大正七八年の二箇年間に一千七百八十八人